



ファクス転送コネクターガイド

(Box/Dropbox/Google Drive/OneDrive for Business)

もくじ

本書の記載内容について	2
ファクス転送コネクタを使用する前に	3
ファクス転送コネクタを使用する	4

本書の記載内容について

このガイドでは、各種オンラインストレージサービス(Box/Dropbox/Google Drive/OneDrive for Business)と複合機を連携して、ファクス受信データの転送を行う「ファクス転送コネクタ」について説明します。

お願い

- このガイドではこの製品をご使用いただくにあたり、導入者および利用者がお使いのコンピューターや Web ブラウザーについて実用的な知識を持っていることを想定して説明しています。
- OS（オペレーティングシステム）やWebブラウザに関する事からについては、必要に応じてOSやWebブラウザのガイドまたはヘルプ機能を参照してください。
- このガイドは内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気づきのことがありましたら、複合機に付属のスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあめの販売店、または複合機に付属のスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品および別売品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- このガイドの内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することを禁止します。
- このガイドの内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

本文中で説明しているイラスト、操作パネル、タッチパネル、Webページ設定画面について

周辺装置は基本的に別売品ですが、お買いあげいただいた複合機の種類によっては、一部標準装備されているものもあります。

複合機の機能や使いかたを説明するために、一部説明と異なる周辺装置の装着状態で説明している場合があります。内容によっては、モデルや周辺装置の装着状況によって使用できない場合があります。詳しくは、複合機に付属のユーザーズマニュアルを参照してください。

ガイドに記載している操作画面、表示されるメッセージ、キー名称などは改良変更などにより実際の表示と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
ガイドで説明している内容は、フルカラー複合機を使用した状況で説明しています。
内容によっては、モノクロ複合機で使用できない内容があります。

- Google DriveはGoogle LLCの商標です。この商標の使用にはGoogle使用許諾が適用されます。
- OneDriveは、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- Dropboxは米国Dropbox Inc.の登録商標または商標です。
- BoxはBox Inc.の商標または登録商標です。

ファクス転送コネクタに関連する注意事項

- ファクス転送コネクタを使用した転送結果は、他の方法での受信 / プリント結果と同様の品質にならない場合があります。
また、転送結果の内容によっては、正しくプリントされないことや、プリントできない場合があります。
- 複合機を利用する国と地域によっては、ファクス転送コネクタの機能の全部または一部がご利用になれない場合があります。
- 複合機を利用するネットワーク環境によっては、ファクス転送コネクタをご利用できない場合があります。また、ご利用になれる場合でも、処理に時間がかかる場合や、または途中で途切れる場合があります。
- 当社は、ファクス転送機能の継続性、接続の安定性などについて、一切保証いたしません。
またこれにより、お客様に生じた損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ファクス転送コネクタを使用する前に

ファクス転送機能を使用する前に、まずファクス転送コネクタのアプリケーションを複合機にインストールする必要があります。

ファクス転送コネクタのアプリケーションのインストールについては、お買いあげの販売店、または複合機に付属のスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。

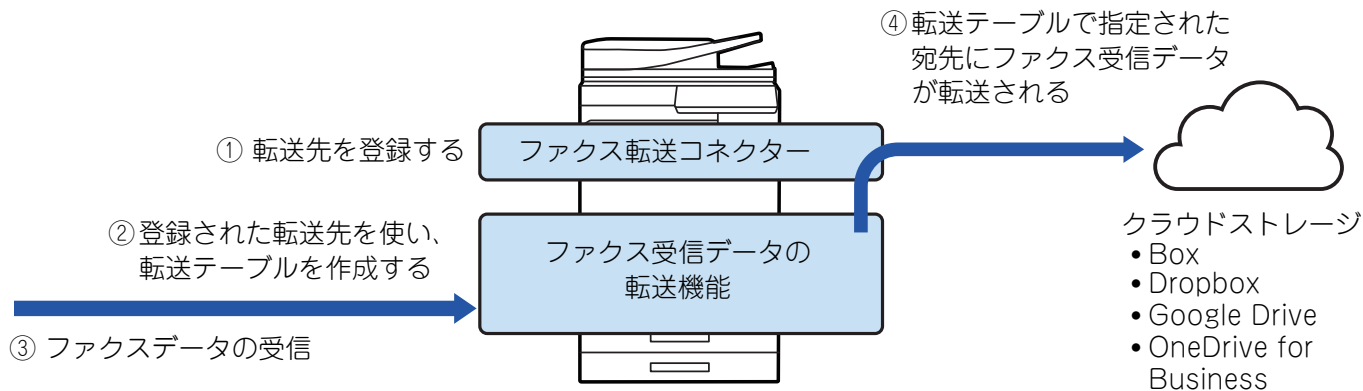
ファクス転送コネクタの基本要件/推奨環境

項目		内容
複合機	Sharp OSA (BP-AM10)	必須
	ダイレクトプリント拡張キット	xlsx、docx、pptxファイルの印刷時に必要
	その他ネットワーク設定	必要に応じ、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー、プロキシサーバーなどを設定してください。

ファクス転送コネクターを使用する

ファクス転送機能を使用するためには、以下の事前設定が必要です。

- ① 転送先を登録する
 - ② 登録された転送先を使い、転送テーブルを作成する
- ファクス転送コネクターでは、「①転送先を登録する」を行います。



転送先を登録する

1



ホーム画面のファクス転送コネクター
（[Google Drive - Fax Forwarding]、
[OneDrive - Fax Forwarding]、
[Dropbox - Fax Forwarding]、[Box
- Fax Forwarding]）キーをタップする



- 「xxxxxxxx-Fax Forwarding」は、インストールされているファクス転送コネクター名になります。
- ホーム画面上にファクス転送コネクターアイコンがない場合は、複合機のシステム設定のホーム画面設定で、ファクス転送コネクターをホーム画面に登録してください。

2

このアプリケーションでは、受信したファクスデータの転送先と仕分け方法を登録します。

終了

・転送機能を利用するには、システム設定での設定が必要です。
・登録済みの転送先の設定内容を変更すると、実際の転送先も変更されます。

追加

転送先が1件も登録されていない場合：
ファクス転送コネクターの説明画面で、
[追加] キーをタップする

編集・削除する場合は、転送先を選択してください。

終了

転送先名	転送先アカウント	仕分け設定
Fax folder	kojizusaku@0303.com	年・月・日

・転送機能を利用するには、システム設定での設定が必要です。
・登録済みの転送先の設定内容を変更すると、実際の転送先も変更されます。
・注意アイコンが表示されている場合は、再度クラウドサービスへログインしてください。

ログイン 削除 編集 追加

転送先が既に登録されている場合：
転送先一覧画面で、[追加] キーをタッ
プする



1つのファクス転送コネクターに登録できる転送先は最大で4つです。

3

各クラウドサービスのログイン画面で、画面の指示に従ってログイン操作を行う

4

フォルダー選択画面で、転送先にしたいフォルダーを選択し、[次へ] キーをタップする

5

仕分け方法の選択画面で、希望する仕分け方法を選択し、[次へ] キーをタップする



「送信者名」を含む仕分け方法を選択したとき、「送信者名をアドレス帳の連絡先名に変更する」チェックボックスをチェックすると、「送信者名」フォルダーのフォルダー名がアドレス帳に登録されている連絡先名になります。

6

転送先名の入力画面で、転送先名を入力し、[登録] キーをタップする

登録した転送先が、転送先一覧画面に表示されます。登録した転送先は、編集や削除ができます。



登録された転送先にファクス受信データを転送するには、複合機のシステム設定で「受信データの転送設定」を選び、「転送テーブルの登録」の「設定（クラウドサービスから選択）」で使用するクラウドサービスを設定する必要があります。操作方法については、複合機のユーザーズマニュアルをご覧ください。

転送先へのアクセス権限を再登録する

クラウドサービスへのアクセス権限が失われているときは、クラウドサービスへの転送処理ができません。その場合は、改めてログイン操作をして、アクセス権限を再登録します。



クラウドサービスへのアクセス権限が失われた転送先には、先頭に ⚠ マークが表示されます。

1

ホーム画面のファクス転送コネクター（[Google Drive - Fax Forwarding]、[OneDrive - Fax Forwarding]、[Dropbox - Fax Forwarding]、[Box - Fax Forwarding]）キーをタップする

転送先一覧画面が表示されます。

2

⚠ マークがついた転送先を選択し、[ログイン] キーをタップする

各クラウドサービスのログイン画面が表示されます。

3

画面の指示に従ってログイン操作を行い、転送先情報の編集画面で[登録] キーをタップする

転送先へのアクセス権限が再登録されます。

設定のインポート/エクスポート

ある複合機でファクス転送コネクターを使用しているときに、そのコネクターに登録されている転送先情報を他の複合機のコネクターで使用するためにエクスポートしたり、エクスポートした情報をインポートする設定について説明します。

設定をインポート/エクスポートする

「設定（管理者）」→「システム設定」→「Sharp OSA設定」→「組み込みアプリケーション設定」で各ファクス転送コネクターを選択し、「エクスポート/インポート」を選択します。

インポートした転送先情報の有効化

他の複合機から設定をインポートしたときは、以下の操作を必ず行ってください。

1

ホーム画面のファクス転送コネクター（[Google Drive - Fax Forwarding]、[OneDrive - Fax Forwarding]、[Dropbox - Fax Forwarding]、[Box - Fax Forwarding]）キーをタップする

転送先一覧画面が表示されます。

2

各転送先を選択し、[ログイン] キーをタップする

各クラウドサービスのログイン画面が表示されます。

3

画面の指示に従ってログイン操作を行い、転送先情報の編集画面で[登録] キーをタップする

インポート先の複合機で転送先設定が使用可能になります。

シャープ株式会社